



＜教育目標＞

- 思いやりのある子ども
- 進んでやりぬく子ども
- じょうぶな子ども
- よく考える子ども

平成28年4月28日(木)  
 練馬区立豊玉第二小学校  
 校長 佐野 匡

# 豊二小だより 5月号

## 私がやらなきゃ だれがやる

校長 佐野 匡

平成28年度の教育活動が始まって、一ヶ月が過ぎます。保護者会やPTAの活動、家庭訪問など保護者の方と連携をとらせていただく機会の多い中、ご協力ありがとうございます。子供たちは「新しい学年」というよい緊張感の中で学習や生活を送っています。各教室を見ると、一人一人の目標やクラスの目標が掲示され、よりよい学校生活をつくろうとする気持ちが伝わってきます。「一つ学年が上がった。」という気持ちが、学習の場面だけでなく、朝会で並び方や委員会・当番の活動をしている様子にもあらわれています。「豊二小の子供はすてきだな。」を日常の生活からたくさん感じます。

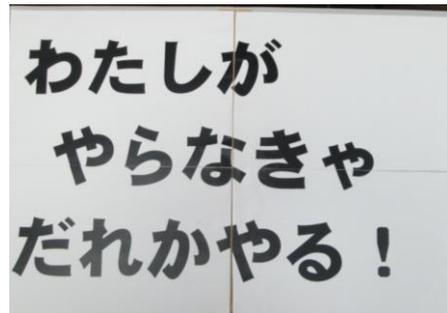
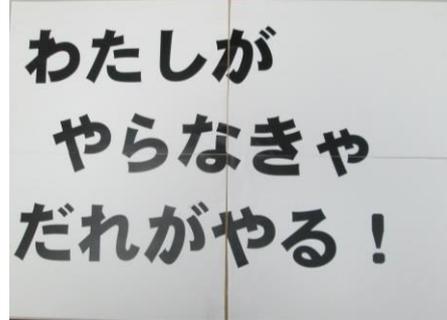
そのようなよい意味での緊張感を持ち続ける中で子供たちが成長してほしいと思い、朝会でこんな話をしました。

先週学校の中で、みんなの素敵な姿を見つけました。「音楽朝会で一人一人が大きな声を出そうとがんばっているところ。」「掃除の時間に隅々まできれいにしたり、すすんでイスを下ろしたりするところ。」です。

どちらも、自分の役割を果たそうと一生懸命になっている姿です。その姿からは「わたしがやらなきゃ だれがやる！」という意気込みが伝わってきました。学年が一つ上がって「がんばるぞ」という気持ちがあらわれているのだと思います。

でも、ほんの少し気持ちが緩んでくるだけで、違う姿が出てきてしまいます。「わたしがやらなきゃ だれがやる！」という前向きな言葉も、「が」が抜けただけで無責任な言葉になります。

「わたしがやらなきゃ だれかやる！」  
 そうならないようによい緊張感はもちつづけたいですね。



学校でも、「よい緊張感」を子供たちが感じながら生活ができるよう指導してまいります。ぜひ、ご家庭でも「がんばろう」という気持ちが持続できるよう言葉をかけていただければと思います。

- お願い** 次の点につきまして、確認をお願いいたします。
- 来校される際は、名札を着用していただくか、入り口の来校者名簿への記入・入校証の着用ください。
  - 下校後にわすれもの等を取りに来る際には、子供一人ではなく、保護者の方と一緒に来校ください。  
 (教室等に入る際には、職員室にお声がけください。)
  - 徒歩での来校をお願いいたします。特に、学校公開日・保護者会・学校行事等多く方が来校される機会につきましては、自転車での来校はご遠慮ください。